

第15回国土技術開発賞を受賞

2013年7月5日(金)、(一社)国土技術研究センターによる第15回国土技術開発賞の表彰式が太田国土交通大臣臨席のもと、東京国際フォーラムで行われ、「UFCブロック耐震壁工法」が国土技術開発賞(入賞)を受賞し、表彰を受けました。国土技術開発賞は、建設産業におけるハードな技術のみならず、ソフトな技術も含めた広範な新技術を対象として表彰するものであり、技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として行うものです。

受賞者コメント

技術研究所 主管 三輪 明広

建設分野においては、開発された技術そのものを対象として表彰する事業としては、我が国唯一のものとされている「国土技術開発賞」を受賞することができ、大変嬉しくありがたく存じます。技術開発において、わたくしは「弛まず耳を傾ければ豊かな智慧を学べる。」というエマソンの言葉が開発の要諦であると考えています。また、技術開発の際に大切にしていることは、「飛耳長目」という事です。

吉田松陰は思想家であると同時に、「現場の人」でありました。人と会い深く観察して見聞を広げる。これが開発の原点であると痛感しています。鋼管コッター工法を適用した耐震補強工法は、開発して10年以上が経ち、全国で220件以上の耐震補強工事に採用されました。その中でも、今回受賞いたしました「UFC耐震補強工法」は知事公舎をはじめ、病院など多くに採用されています。技術開発と工法展開は1人ではできません。今回の受賞は鋼管コッター工法研究会が一体となって成し遂げた結果であると感謝しております。ありがとうございました。



表彰状授与

写真中：選考委員会委員長 中村 英夫
写真右：戸田建設株式会社執行役員 大内 仁
写真左：戸田建設株式会社技術研究所主管 三輪 明広



工法のプレゼンテーション

戸田建設株式会社技術研究所主管 三輪 明広